琉球大学学術リポジトリ

[会員の広場]「南の拠点」をめざして：南資研の役割と使命

メタデータ	言語:
	出版者: 南方資源利用技術研究会
	公開日: 2014-10-26
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 照屋, 輝一
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017246

会員の広場

「南の拠点」をめざして
－南資研の役割と使命－

照屋輝一
（沖縄県工業試験場研究主幹）

近年の内外の経済環境の変化を背景に，地域も新たな時代へ向けて独特の創意と工夫で地域活性化の方向を見い出し，実行していくことが必要とされている．

沖縄県の場合も，沖縄総合事務局に沖縄産業ビジョン懇談会及び専門部会が設置され「90年代の沖縄地域産業ビジョン」がとりまとめられつつある．

小生も委員として末席をけがしているので，その概要の一端を紹介したい．というのは，南資研とも深い関わりがあるというか，このビジョン実現のために南資研に期待するところが大きいからである．

このビジョンの副題は「南の拠点」をめざしてとなっている．〝我が国最南端にあり，南の国々との交叉路となって，国際交流，リゾート，そして特色ある産業の拠点として伸びて欲しい〟との暑い思いが込められている，と言えようか．沖縄の有する地理的．自然的環境及び歴史背景から，その可能性は十分にあると言えよう．

然し，その具現化のためには研究開発力をはじめとする〝産業の頭脳部分〟の発展が必要不可欠であることは論を待たない．拠点形成のため，この〝産業の頭脳部分〟の集積促進の必要性を一貫して強調しているのもこのビジョンの一大特徴となっている．

「熱帯・亜熱帯地域における資源を有効に利用する研究及び技術開発を図る」ことを目的する我が南資研は，極めて広い研究技術領域にわたって，これまで国際シンポジウム，講演会，研究発表会等を行い，また海外の研究者との交流，海外の調査など国際的ひろがりを持った学協会的活動を多彩に展開しているところである．

まさに沖縄が「南の拠点」をめざす上での先駆的役割を果たして来ているものと言えよう．従って，新産業ビジョン・「南の拠点」形成の具現化を進める上で我が南資研の役割は大きく，地域からの期待も今後層倍して大きなものになることは確実である．

小生もまた，一会員として我が南資研の発展，ひいては地域発展のため微力を尽くしたいと気を引締めている今日この頃である．